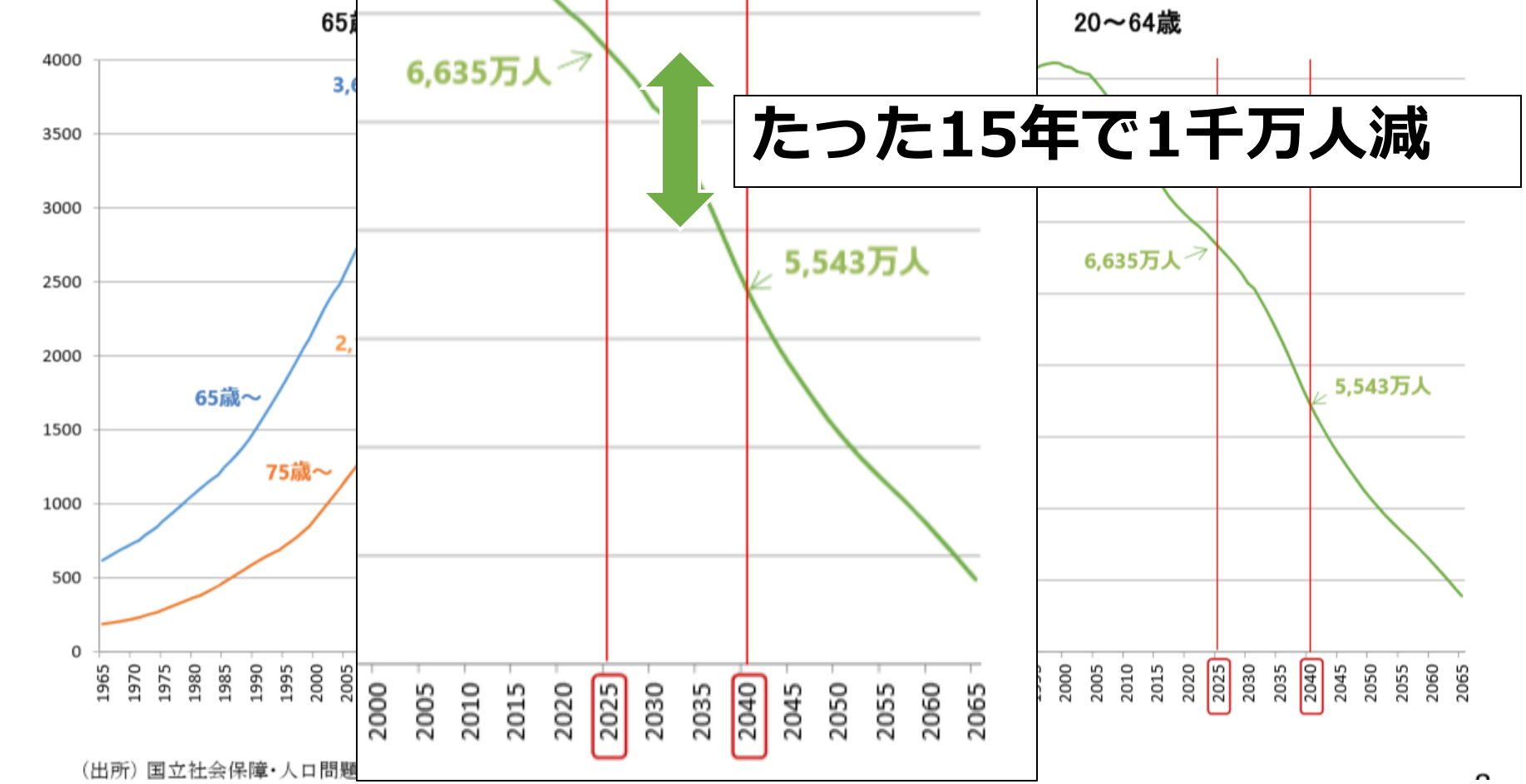
日本の人口構造

○　65歳以上については、2
けて急増した後、概ね横ば
○　一方、65歳未満の若年

75歳以上については、2025年にか
は現在の概ね６割程度まで減少。）



（出所）国立社会保障・人口問題

Copyright by Chiba University Hospital.

労働生産性という観点

OECD データに基づく2017 年の

日本の時間当たり労働生産性(就業 1 時間当たり付加価値)は、

47.5 ドル(4,733 円), 米国の 2 / 3 程度の水準で、

順位はOECD加盟35 カ国中20位だった.

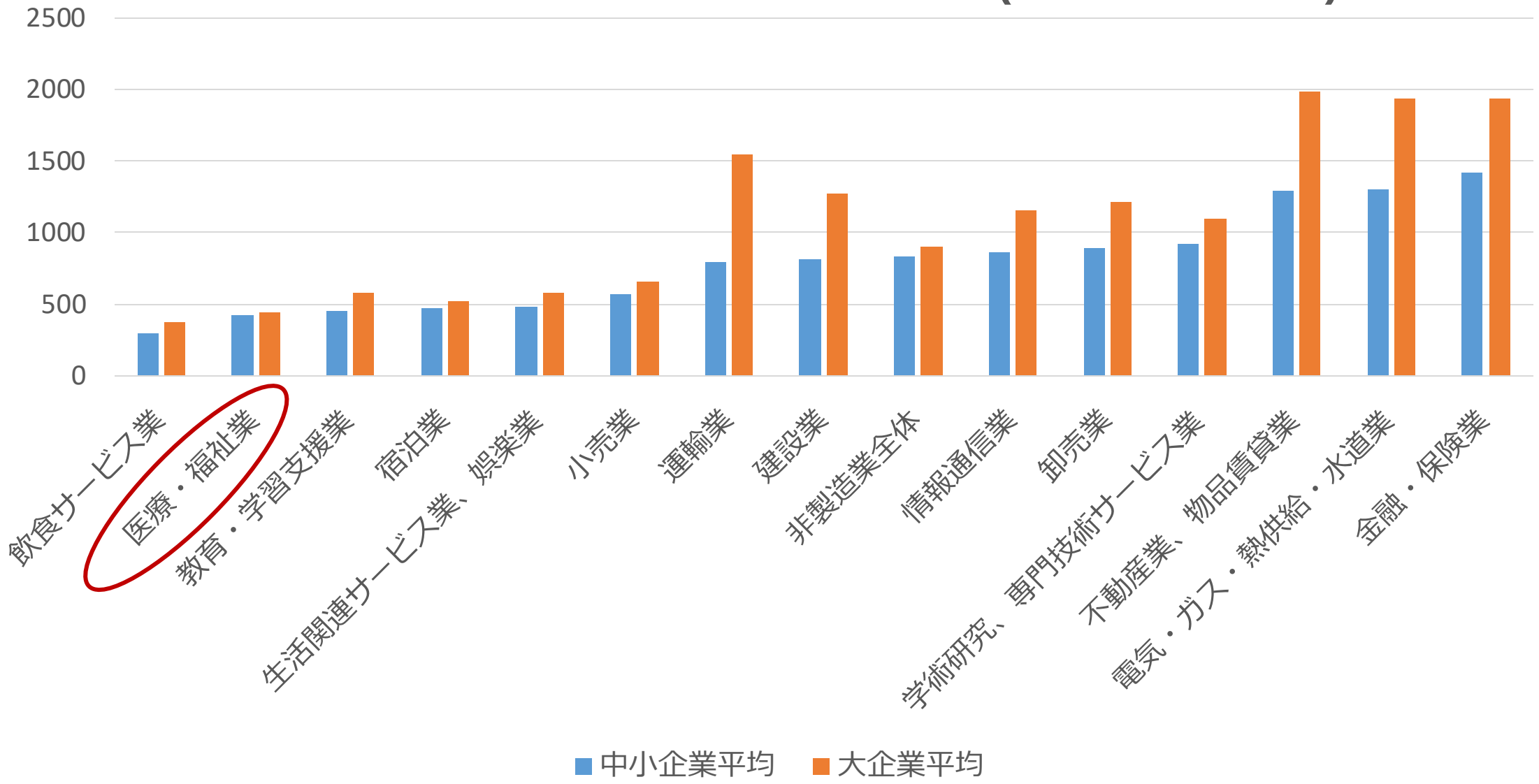
1 人当たり労働生産性は, 84,027 ドル(837 万円),

OECD 加盟35 カ国中21位となっている.

公益財団法人日本生産性本部より

Copyright by Chiba University Hospital.

非製造業における労働生産性の平均値(業種別、規模別)



平成27年度（2015年度）の中小企業の動向 http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H28/h28/html/b1_3_2_1.html

Copyright by Chiba University Hospital.

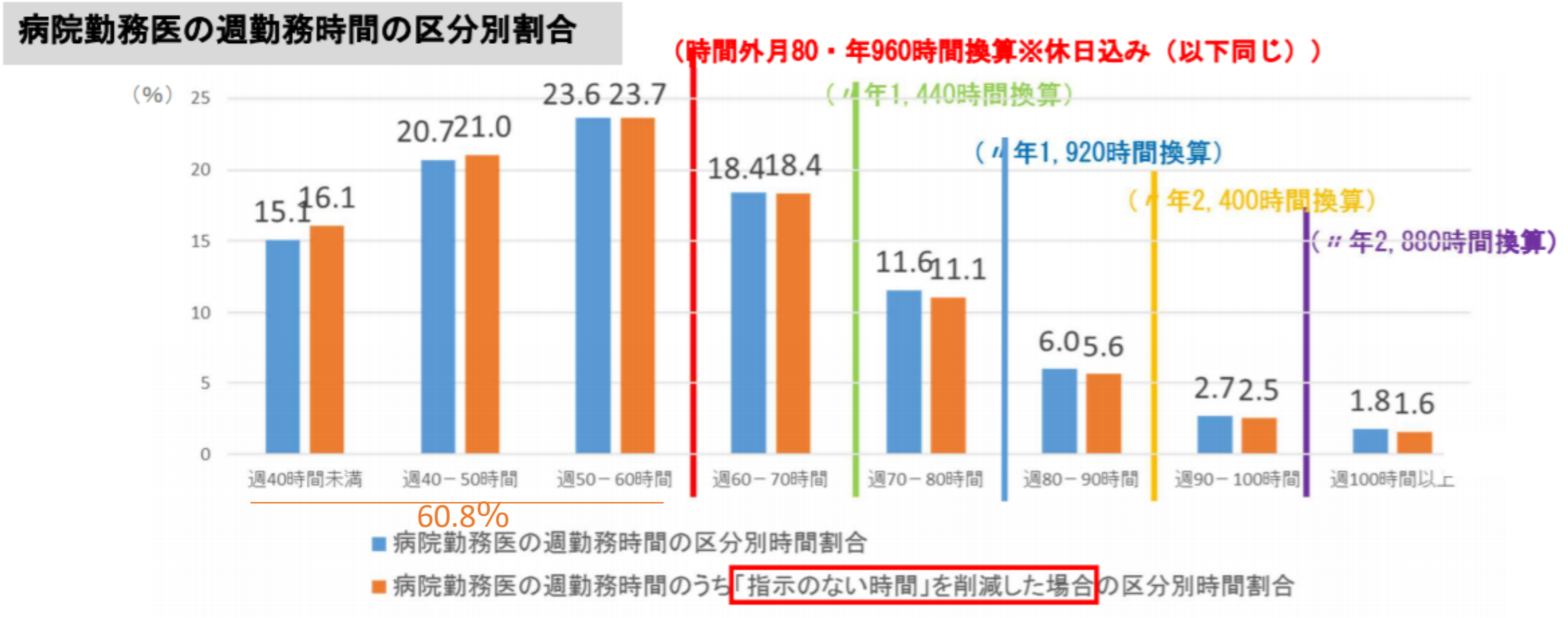


自動車運転の業務	改正法施行５年後に、上限規制を適用します。 （ただし、適用後の上限時間は、年９６０時間とし、将来的な一般則の適用については引き続き検討します。）
建設事業	改正法施行５年後に、上限規制を適用します。 （ただし、災害時における復旧・復興の事業については、複数月平均８０時間以内・１か月１００時間未満の要件は適用しません。この点についても、将来的な一般則の適用について引き続き検討します。）。
医師	改正法施行５年後に、上限規制を適用します。 （ただし、具体的な上限時間等については、医療界の参加による検討の場において、規制の具体的あり方、労働時間の短縮策等について検討し、結論を得ることとしています。）
鹿児島県及び沖縄県における砂糖製造業	改正法施行５年後に、上限規制を適用します。
新技術・新商品等の研究開発業務	医師の面接指導（※）、代替休暇の付与等の健康確保措置を設けた上で、時間外労働の上限規制は適用しません。 ※時間外労働が一定時間を超える場合には、事業主は、その者に必ず医師による面接指導を受けさせなければならないこととします。

Copyright by Chiba University Hospital.

病院勤務医の約4割が「過労死認定ライン」の勤務時間

病院勤務医の週勤務時間の区分別割合



医師の働き方改革に関する検討会 報告書

Copyright by Chiba University Hospital.

医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組の概要

考え方

- 勤務医を雇用する個々の医療機関が自らの状況を踏まえ、できることから自主的な取組を進めることが重要。
- 医療機関における経営の立場、個々の医療現場の責任者・指導者の立場の医師の主体的な取組を支援。
- 医師の労働時間短縮に向けて国民の理解を適切に求める周知の具体的枠組みについて、早急な検討が必要。

勤務医を雇用する医療機関における取組項目

※1～3については現行の労働法制により当然求められる事項も含んでおり、改めて、全医療機関において着実に実施されるべき。

1 医師の労働時間管理の適正化に向けた取組	□ まずは医師の在院時間について、客観的な把握を行う。 □ ICカード、タイムカード等が導入されていない場合でも、出退勤時間の記録を上司が確認する等、在院時間を的確に把握する。
2 36協定等の自己点検	□ 36協定の定めなく、又は定めを超えて時間外労働をさせていないか確認する。 □ 医師を含む自機関の医療従事者とともに、36協定で定める時間外労働時間数について自己点検を行い、必要に応じて見直す。
3 産業保健の仕組みの活用	□ 労働安全衛生法に定める衛生委員会や産業医等を活用し、長時間勤務となっている医師、診療科等ごとに対応方策について個別に議論する。
4 タスク・シフティング（業務の移管）の推進	□ 点滴に係る業務、診断書等の代行入力の業務等については、平成19年通知（※）等の趣旨を踏まえ、医療安全に留意しつつ、原則医師以外の職種により分担して実施し、医師の負担を軽減する。 ※「医師及び医療関係職と事務職員等との間等での役割分担の推進について」（平成19年12月28日医政発1228001号） □ 特定行為研修の受講の推進とともに、研修を修了した看護師が適切に役割を果たせる業務分担を具体的に検討することが望ましい。
5 女性医師等の支援	□ 短時間勤務等多様で柔軟な働き方を推進するなどきめ細やかな支援を行う。
6 医療機関の状況に応じた医師の労働時間短縮に向けた取組	□ 全ての医療機関において取り組むことを基本とする1～5のほか、各医療機関の状況に応じ、勤務時間外に緊急でない患者の病状説明等を行わないこと、当直明けの勤務負担の緩和（連続勤務時間数を考慮した退勤時刻の設定）、勤務間インターバルの設定、複数主治医制の導入等について積極的な検討・導入に努める。

行政の支援等

□ 厚生労働省による好事例の積極的な情報発信、医療機関への財政的支援、医療勤務環境改善支援センターによる相談支援等の充実　等

Copyright by Chiba University Hospital.

働き方改革を進めるために

○働き方改革には今のところ決定的なソリューションは無い

○働き方改革を推進するには

・働く人・働かせる人のマインドセットの改革

・地道な仕事のプロセスの改善

が肝要　⇒BPR　Business Process Re-engineering

○プロセス改善時に活用することによって圧倒的威力を発揮するのがRPA　Robotic Process Automation

・ロボットによる業務自動化の取り組みを表す

・主にホワイトカラーの業務を代行する

Copyright by Chiba University Hospital.

RPAの活用により期待される効果

○RPAの導入によりプロジェクトが立ち上がり、BPRに取り組む切っ掛けになる

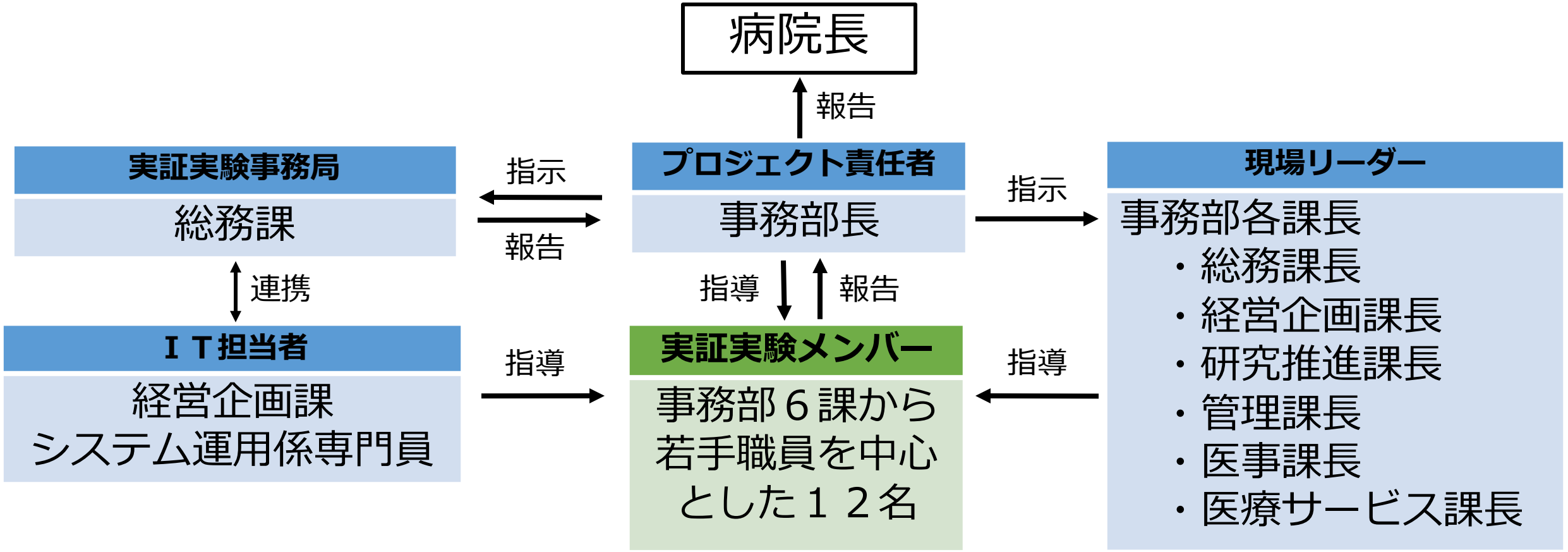
○細かいタスクの負荷が少なくなることにより重要なシングルタスクに集中できるようになり生産性が向上する

○work flowが見直され、ロボットが行うべき定型作業、人が行うべき、感覚的判断を伴う非定型作業の切り分けが行われる

○感覚的判断を伴う非定型作業のうちのいくつかは今後AIに置き換えることが出来るようになると期待されるため、そのための準備につながる

Copyright by Chiba University Hospital.

千葉大学医学部附属病院でもfeasibility studyを実施中



上記メンバー以外の職員も指導、アイディア提供等により推進に貢献

Copyright by Chiba University Hospital.

‘研究者としての医師’の支援

研究のプロセスは大体以下の通り

1. 関心を持っている研究題材は今までどのような研究がされているか「業界地図」を把握する <introduction,*background*>
2. 新規性のある事項等に対して仮説を立て、研究計画を練る
3. 研究の実施　→定型的な分析なら代行可能？
4. 研究結果をまとめ上げる
5. 研究結果について現在ある論文等を元に考察<*discussion*>

膨大な量の情報収集が必要

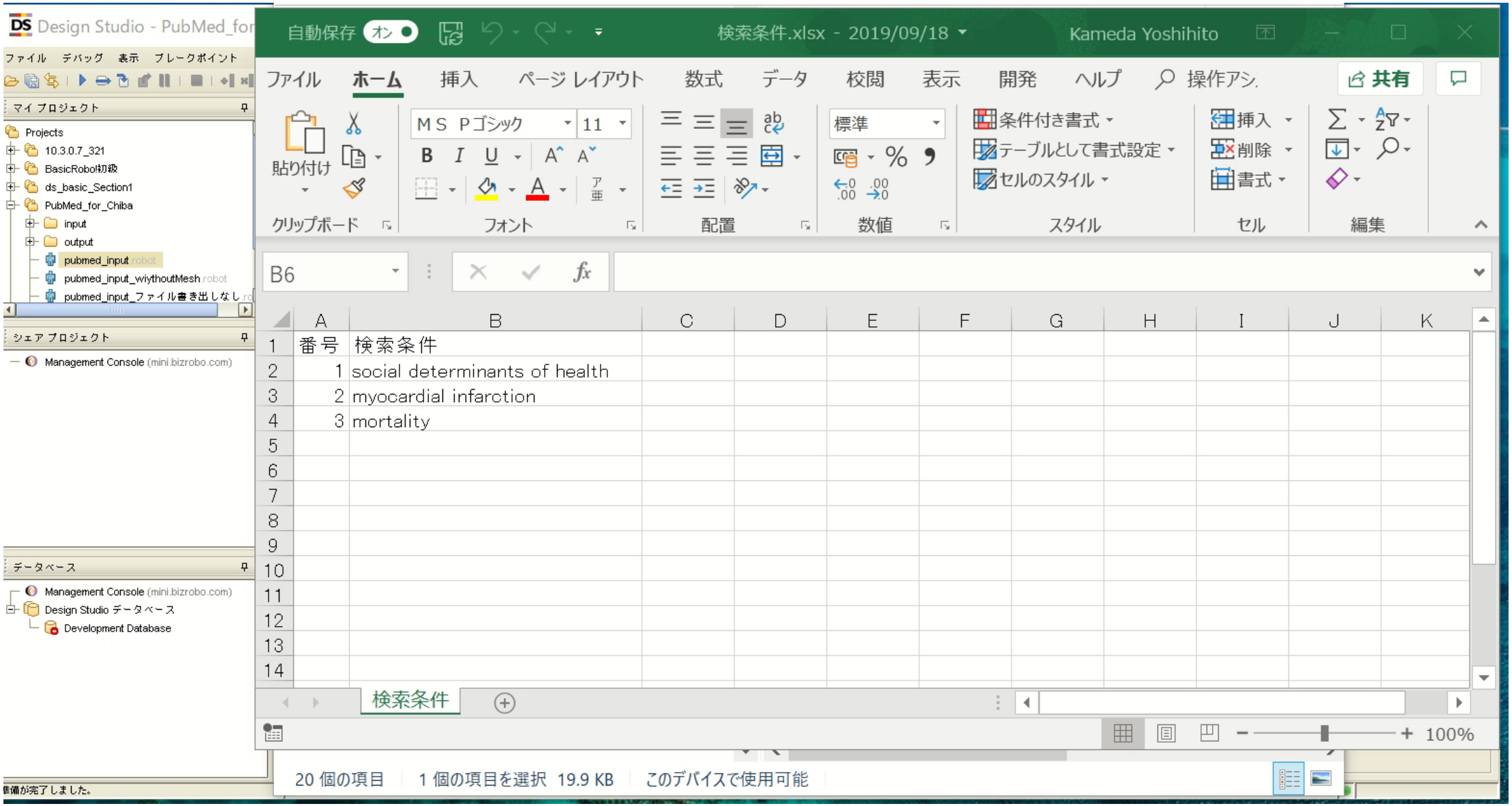
RPAが代行

Copyright by Chiba University Hospital.

論文検索抄録整理自動化ロボット

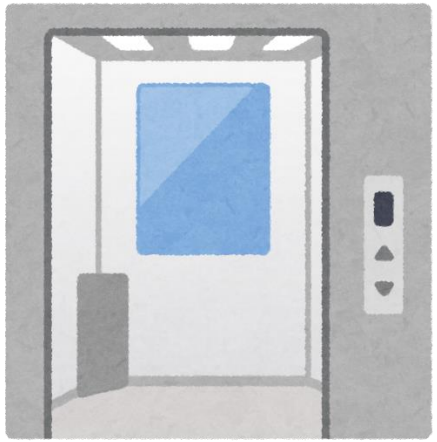
千葉大学病院

CHIBA UNIVERSITY



Copyright by Chiba University Hospital.

きっかけに





Copyright by Chiba University Hospital.

今後RPAの活用を前提とした組織体制が発達し

人とロボットが協働する世界観が生まれる

Copyright by Chiba University Hospital.